



問 ごみ出しが困難な世帯へのごみ出し支援の実施を

加齢や障がい等により、ごみ出しが困難な世帯が増加しており、病気やけが等によってごみ出しが困難な世帯もある。戸別収集によるごみ出し支援の実施を。

また、好評な「大型家具等のごみ出し支援」の対象世帯を拡大する考えは。

答 特定の世帯に対する戸別収集を津市として前向きに検討する

津市が令和2年12月に実施したアンケートの結果では、約83%が、「一定条件のもとに戸別収集が必要」と回答しており、津市廃棄物減量等推進審議会でも必要との意見が出ているため、ごみ一時集積所によるステーション方式を基本としながら、特定の世帯を対象に戸別収集を行う支援策について、津市として前向きに検討していく。

また、大型家具等のごみ出し支援は、現在、要支援・要介護認定者、障がい者、または75歳以上の者のみで構成される約3万世帯を対象にしており、現状では、この対象者に対して丁寧にサービスを継続して実施していきたいと考えている。

その他の質疑・質問

- 市民の生命を守る津市救急医療体制について
- 歯と口腔の健康づくりの推進を
- 水源から給水栓までの水質管理と危機管理は
- 中消防署西分署の老朽化等課題の解消に向けた整備の取り組みは
- 津市教育振興ビジョン後期計画は教育方針にどのように位置づけられているか など

津市においてもごみの排出が困難な世帯への戸別収集による支援が強く求められている



提供：熊本市



問 エリアプラットフォームが実施する実験的な取り組みを問う

大門・丸之内地区の未来ビジョンに基づいた住民で組織するエリアプラットフォームが実施する実験的な取り組みに対する負担とはどのようなものか。

次に、同実験にはどのような候補があったのか、また、その選定理由は。

答 将来的な道路空間の在り方の検討につなげる取り組みを進める

エリアプラットフォームでは、毎年度、事業に応じた予算規模を決定した上で、必要経費を構成員が分担金として負担することとしており、津市もまちづくりを担う基礎自治体として負担する。

候補には、道路空間の活用、新たな移動手段の導入等があり、構成員の大門大通りおよび丸之内の各商店街振興組合で、従前より道路空間再編の検討があったことなどから、令和5年度については、道路空間を活用して地区のにぎわいのポテンシャルを確認し、将来的な道路空間の在り方の検討につなげるための実験的な取り組みが実施できるよう、調整を進めてきた。

その他の質疑・質問

- 多様な子どもたちの資質・能力を育成し、誰一人取り残すことのない教育をめざすことについて
- 発達障害がある生徒への才能を生かす進学相談について
- 歴史文化資料館について
- 空き家対策について、法改正の周知は
- まちなか・お城公園のふん害について など

衛生面や景観のことを考えたふん害への取り組みを

